	1421 24 051 理科因 2年 型科書 p.54 ~ 59 標準実施時間15分	必ず言	2入して下さい。	
	基	番	名前	_
	化学変化と熱の出入り	要用語	知·技 思·判·表 合計 /100 0 /100	×をかこう。間違えた問題
				かこう。
	熱を発生する化学変化	1	5点×4 /2	
	図は、熱が発生する化学変化を利用して、火を使わずにあたためる弁当を示したものである。		1	Ì
	を使わりにあたためる弁当を小したものである。 (1) 次の文の にあてはまる語を書きなさ	(1)		
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		2	
	熱を発生する化学変化の1つに, ①		物質名	
	がある。これは、物質が光や熱を出しながら激しく②する現象である。	(2)	化学式	
	(2) 次の式は、図の弁当をあたためることに利用されている化学変化を表してい		10十八	لــال
	る。 しこのではまる物質の物質名と化学式を書きなさい。			
	酸化カルシウム + 水酸化カルシウム	2		
	② 鉄粉と活性炭を用いた反応と熱 (実験) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		5点×7 /3	55
	図のように、鉄粉と活性炭の混合物に食 食塩水 //		1	
	塩水を加えてよく混ぜ、30 秒ごとに温度	(1)	2	
	をはかった。			-
	(1) 次の文の にあてはまる言葉を書 活性炭 鉄粉		3	
	きなさい。	(2)		
	この実験では、鉄粉が空気中の ① と反応して、熱を ② したため、温度が ③ 。	(3)		
•	(2) (1)の下線部の結果, 鉄粉は何という物質になるか。			
	☆(3) (1)のような温度変化をする化学変化を何というか。	(4)		
	(4) 全ての鉄粉が化学変化をしてしまうと、熱はどうなるか。	(5)		
	(5) 身のまわりで,この実験と同じしくみを利用したものを1つ書きなさい。			
	3 熱を吸収する化学変化 注 験 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
(図のように、試験管に塩化アンモニウムと水酸化バリ 温度計	3		
	ウムを順に入れ, そこに水を加えた。フェノールフタレ		5 点× 9 /4	5
	イン液をしみこませた脱脂綿で素草くふたをし、温度変水	(1)	-	
	化を観察した。 (約2mL)		物質名	
	(1) しばらくすると脱脂綿は何色になったか。 水酸化 バリウム	(2)		
	(2) この実験では気体が発生した。発生した気体の物質 (3g) 名と化学式を書きなさい。		化学式	
	(3) (2)の物質の性質を正しく述べたものを,次のア~カ			
	から2つ選びなさい。 (1g)	(3)		
	ア 水によく溶ける。 イ 水に溶けにくい。			
	ウ 空気中で燃えて水ができる。 エ ものを燃やすはたらきがある。	(4)	1	
	オ無臭である。 カ刺激臭がある。	(4)	2	
	(4) 次の文の にあてはまる言葉を書きなさい。 この実験では、熱を ① したため、温度は ② 。	/=-		
	☆(5) (4)のような温度変化をする化学変化を何というか。	(5)		
	★(6) 一般に、化学変化が進むと熱が出入りする。その熱を何というか。	(6)		
				_

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1421 24 052 _{理科因 2年 □教科書 p.54 ~ 59 標準実施時間15分 組・番号・名前は両面に}	必ず記入して下さい。
2 大阪酸化バリウムを順に入れ、そこに水を加えて、試験管には、	光 化学変化と熱の出入り (は書き出し	知・技 思・判・表 合計
3	 と水酸化バリウムを順に入れ、そこに水を加えて、試験管にふれたところ、冷たく感じた。 (1) ① にあてはまる固体と ② にあてはまる気体の物質名を書きなさい。 (2) 試験管にふれると冷たく感じたのはなぜか。「試験管の周囲の熱が」の書き出しで、簡単に書きなさい。 (3) 試験管の口に、水でぬらしたリトマス紙を近づけると、色が変化した。リト 	(1) ② □ □ (2) 試験管の周囲の熱が 10 □
かいろ A、B をよく振ってあたたかくしたあと、 図のようにかいろ A は机の上に置き、かいろ B はメ かいろ B は スシリンダーの内側に貼りつけ、メスシリンダーを、 上下逆にして水の入った水槽に立てた。 (1) かいろには、鉄粉のほかに、温度を調節するため に何が入っているか。次から 1 つ選びなさい。 ア 活性炭 イ マグネシウム ウ 炭酸水素ナトリウム エ 塩化アンモニウム (2) 翌日、メスシリンダー内の水面はどうなったか。 (3) (3) (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5点×4 (4) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5点×4 (4) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5点×4 (4) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5点×4 (4) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5点×4 (4) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5点×4 (4) (1) (4) (4) (5点×4 (4) (4) (4) (1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	温度の変化を調べたと ころ、温度の変化のしかたが ちがった。 実験 A: 図1のように、酸 化カルシウムに水を加えた。 実験 B: 図2のように、炭 酸水素ナトリウムを混ぜた水にレモン汁を加えた。 (1) 実験 A と B の反応では、熱の出入りはそれぞれどうなったか。 (2) 実験 B では、気体が発生した。発生した気体の物質名と化学式を書きなさい。 (3) 次の①、②では、実験 A、B のどちらと同じ熱の出入りが起こるか。 ① 鉄と酸素の化学変化 ② メタンの燃焼	A (1) B □ □ 物質名 □ □ (3) ② □ □
① かいろ B が磁石についたのは、かいろ B に何が残っていたためか。② かいろ B を再び振ると、どうなったか。□ ② ②のようになったのはなぜか。簡単に書きなさい。	がいろ A、B をよく振ってあたたかくしたあと、図のようにかいろ A は机の上に置き、かいろ B はメスシリンダーの内側に貼りつけ、メスシリンダーを、上下逆にして水の入った水槽に立てた。 (1) かいろには、鉄粉のほかに、温度を調節するために何が入っているか。次から l つ選びなさい。ア 活性炭 イ マグネシウム ウ 炭酸水素ナトリウムエ 塩化アンモニウム (2) 翌日、メスシリンダー内の水面はどうなったか。 (3) メスシリンダー内の水面が(2)のようになるのはなぜか。「酸素」の語を用いて、簡単に書きなさい。 (4) 翌日、かいろ B をメスシリンダーからとり出し、かいろ A、B に磁石を近づけると、かいろ A は磁石につきにくかったが、かいろ B は磁石についた。① かいろ B が磁石についたのは、かいろ B に何が残っていたためか。② かいろ B を再び振ると、どうなったか。	(1) (2) (3) (3) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (3) (4)